

概要

背景

- 常微分方程式の理論的理解を深めたいという動機から研究を開始
- 解析学の学習を通じて一意性に関心を持つ

目的

- 解の存在と一意性を理論的に証明する

主定理

- Picard の逐次近似法を用い、連続関数空間の完備性により解の存在を示す
- Gronwall の不等式により初期値問題の解の一意性を保証する